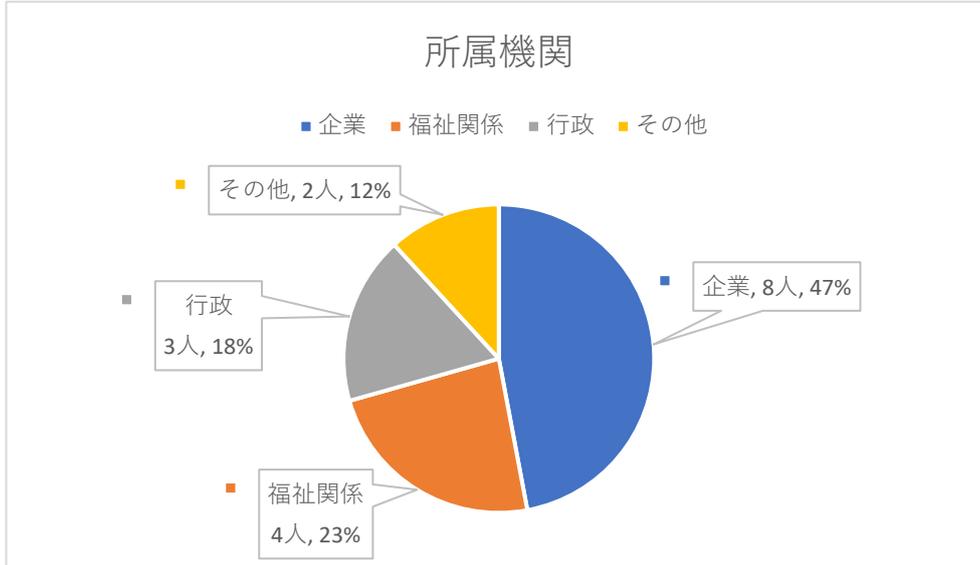


## 令和7年度 企業担当者(責任者)連携交流会 アンケート(全文)

感想、意見
貴重な機会をありがとうございます。次回は是非会場で交流を深めさせていただきたいと思っております。
こういった交流会はジョブコーチの意義を再認識するよい機会と捉えています。また、今回は手帳を持っていない方の支援について具体的な数値を交えてお話いただきました。ジョブコーチは障害をお持ちの従業員だけでなく、そういったグレーゾーンの方の定着支援、働きやすい職場環境づくりに働きかける存在であると感じました。
企業在籍型ジョブコーチのお話を聞く機会は少ないため、大変参考となる研修となりました。
養成研修の時に出会った方も参加されており、研修当時のことを色々思い出しました。
他企業での話を聞くことができ良かったです。
ジョブコーチの有効性は伝わった。具体的な事例発表があればさらに分かりやすいかも。
北見地域の障がい者雇用が一步ずつ前進しているのを感じます。
今回の交流会では、さまざまな立場の方のお話を伺うことができ、大変有意義な時間となりました。
ジョブコーチ=障がい者の働き方の支援だと思っていたので、障がい者雇用をしていない自社には直接関係ないと思っていたが、定着全般に活用できると知り、ジョブコーチに興味を持ちました。(若手職員で数名、グレーゾーンとおぼしき職員がいるため)
ジョブコーチが果たす役割や、職場の定着に向けた取り組みを学びました。社員1人1人の個性や得意、不得意な点をお互いに認め、理解しあうことが、働きやすい職場づくりに向けた社会への一歩になると感じました。
とても勉強になりました。実際に事業所さんの取り組みが聞けて良かったです。
多くの企業が参加されていた為、よい機会にさせて頂きました。ありがとうございました。
ジョブコーチの存在は大変貴重だと感じました。障がい者雇用は本人だけでなく、周り(会社環境、職員など)の配慮も必要で、この交流会で多くの企業が変わっていただける事を望みます。
他事業所の取り組みを知ることができ有意義でした。
企業の取り組みを知ることが出来たのが良かった。
具体的な事に関して、言える範囲で深掘り出来れば良かったです。(ケースなど)
企業間の交流の機会はとても大切だと思います。続けていただき、より多くの企業が障害者雇用に取り組むきっかけとなっただけだとよいですね。
取り組みや困りごとは企業にとって、進める際にかかせない支援機関があってこそと改めて感じております。様々な機関との連携が必要で、このような会が横のつながりとして、とても有意義であると思っております。

回答数 17人 / 参加者 23人 = 回答率 74%



その他内訳：無回答

